

2019年7月 佐伯通信 【熱海だより】



映画「居眠り磐音」展示の前で 於・よみうり大手町ホール  
写真提供:佐伯泰英事務所

**佐伯通信**

2019年7月(令和元)  
第48号

発行  
佐伯泰英事務所  
担当/文藝春秋  
禁・無断転載

**土俵を回る**

国技館の土俵を回った。  
といつても喜寿を迎えた私がまわし姿で、というので夏場所新大関に昇進した貴景勝がかかる、初めて映画化された「居眠り磐音」の懸賞幕がこの大関の話を聞かされたとき、「大昇進場所を飾ったのだ。こ

相撲の懸賞幕に時代劇の宣伝ありか」と首を捻った。さりながら両者はなんとか相性がよさそうだと思いついた。また懸賞幕に映画の宣伝が加わったことは久しくないとか。

夏場所初日、テレビの画面に顔を寄せて新大関の取り組みを凝視した。

貴景勝には申し訳ないが、相撲より立ち合い前の懸賞幕が狙いだ。ところが若い衆が一本ずつ掲げた懸賞幕の四十一本は、土俵を三回ぐりするほどの数だ。スポーツは三本とか五本とか並んで土俵を回り、そ

2019年7月 佐伯通信 【近刊予告】

## 佐伯泰英/近刊のお知らせ

2月  
5日1月  
4日11月  
16日10月  
10日

『新・酔いどれ小籠次』  
2月5日  
発行  
『文春文庫』  
『岩波現代文庫』

『初午祝言』  
1月4日  
『文春文庫』  
『岩波現代文庫』

『惜櫻荘の四季』  
11月16日  
『光文社文庫』  
『岩波現代文庫』

『新・吉原裏同心抄』  
10月10日  
『光文社文庫』  
『岩波現代文庫』

8月6日 ⑫『探梅ノ家』⑬『残花ノ庭』  
9月3日 ⑭『夏燕ノ道』⑮『驟雨ノ町』  
10月9日 ⑯『螢火ノ宿』⑰『紅椿ノ谷』  
11月7日 ⑱『捨雛ノ川』⑲『梅雨ノ蝶』

2019年7月 佐伯通信 【PR】

## 「令和初」の……



文藝春秋文庫  
「酔いどれ小籠次」「居眠り磐音」シリーズ担当  
**瀬尾 巧**

本作『旅仕舞』で丹波篠山から江戸に帰ってきた小籠次一家。老中からは「感謝せねばならぬ」とお褒めを受け、「酔いどれ様のいねえ江戸は寂しい」と市井の人びとに歓迎される。帰着早々、押込み強盗事件の解決に奔走する姿は、まさに理想の老後です。ただ、さしもの小籠次にも老いが迫ります。背丈が伸び、体付きも逞しくなった駿太郎を、このまま大人ばかりの環境に留め置いていいのか……。小籠次の揺れる親心は切ないばかり。小籠次家族の新たな物語に注目です。

さて、本作は「令和初」の「小籠次」です。初心に立ち返って、作品の益々の飛躍を願うべく、改元の日、「令和初」の参詣に江戸総鎮守・神田明神へ参りました。鳥居から長く伸びる行列に一瞬たじろぐも、初志貫徹と並ぶこと90分。社殿の鈴を鳴らしたときの達成感たるや。参道の甘酒は美味でした。「新・酔いどれ小籠次」は、毎夏恒例の2ヵ月連続刊行。8月刊の『鎌騒ぎ』をお楽しみに！



「神田祭」仕様の御朱印頂きました

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。  
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2019年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。  
(株)光文社、(株)新潮社、(株)文藝春秋

2019年7月 佐伯通信 【熱海だより】

の上、実にシンプルな商品が刀を構えた写真に映画のタイトルやら公開日やらと情報が溢れています。他の懸賞幕の数に紛れているように思えた。

ともかくテレビの画面を凝視したが、「あこれか」、「いや、違うな」と迷つているうちに相撲が始まつた。しかし今や日本人の大半がスマホをお持ちの時代だ。スマートフォン危うし、「居眠り磐音」頑張れ。ともあれ己の原作映画の宣伝が国技館の土俵を回るなんて、浮世はなにがあるか分らない。

「佐伯通信」第49号は、10月10日刊行予定の「新・吉原裏同心抄」によります。

「新・吉原裏同心抄」は、10月10日刊行予定の「新・吉原裏同心抄」によります。

「新・吉原裏同心抄」は、10月10日刊行予定の「新・吉原裏同心抄」によります。

新・吉原裏同心抄シリーズ刊行記念・特製ブックカバー(文庫用)をプレゼント!  
『まよい道』カバー絵を使った特製ブックカバーを、200名様にプレゼントいたします。

応募方法 オビにある応募券を1枚1口でハガキに貼付し、①郵便番号 ②住所  
③氏名 ④年齢 ⑤職業 をお書きのうえ下記までご応募ください。  
宛 先 〒112-8011 東京都文京区音羽1-16-6  
光文社文庫編集部 「まよい道」プレゼント係  
締め切り 2019年12月20日(金)(当日消印有効)

出版社からのお知らせ 光文社文庫